



今日から中学校生活の集大成「県立高校一般入試」が始まります。



【県立高校一般入試事前指導】

本日、令和3年3月3日は五節句の一つ、「上巳(じょうし)」です。県内のコロナも落ち着きを見せ、部活動も他地区との練習試合も再開するなど、少しずつ日常に戻っている感じがします。そのような中、3年生は16日の卒業式に先んじて、今日と明日の2日間、県立高校の一般入試を受験します。既に進路が決定している生徒もいますが、多くは今日に向けて努力や我慢を重ねてきました。ある意味「中学校生活の集大成」

とも言えるビッグイベントです。自分を信じて、力を出し切って欲しいと思います。2年生も来年、1年生は2年後、この時が必ず来ます。まだ先のことだと簡単に考えずに、早速今日からできることを始めてみましょう。3学期は「年間のまとめ」「次年度への準備」の学期です。学期末テストや2年地区実力テストの結果を確認し、少しでも来年・再来年困らないように準備しておきましょう。



第2学年「SDGs学習発表会」

第1学年「学力向上プロジェクト」

2/22(月)の学校参観日に、2年生は総合学習のまとめとして、「SDGs学習発表会」を実施しました。2学期に予定していた修学旅行が延期となったことから、急遽始めた取組にもかかわらず、地球規模の問題を自分の課題と捉え、国連が採択した17の持続可能な開発目標SDGsのうち8目標に絞り、グループで学習してきました。発表会に向けてそれぞれの目標ごとにポスターと発表原稿を準備し、グループ内で発表会を行いました。



【発表会】

そのようなこともあり、本番の8つの発表はどれもすばらしく、アドバイザーの南日本ハムの難波さんも、当日会場には来ることができずでしたが、事前にポスターや発表原稿を見られて、動画で講評を送ってくださり、発表レベルの高さには大絶賛されていました。次年度は更に学習を進め、ぜひ、「言葉」だけではなく、今の自分にできる「行動」を起こしてくれることを期待します。

1/29(金)と2/5(金)の総合学習の時間に、1年生が「夢を叶える」「入試に合格できる」「学力を身に付け、高める」ために「学力向上プロジェクト」を実施しました。

1/29の第1回は、「教科の勉強の仕方」を学び、即実践しました。また、2/5の第2回は、「教科の学習の計画の立て方とその活用」の仕方」を学びました。自分が「伸ばしたい」と思う教科を自ら選択しているので、どの生徒も真剣そのものでした。

今後もキャリア教育とも関連付けて、「将来の自分の姿」を思い描き、「その姿に近づける」ように、ぜひ「学びに向かう力」を高めて欲しいと思います。



こんなことで困っている、悩んでいる人いませんか？



「ディスレクシア」という言葉を聞いたことがありますか？

知的能力、視覚、聴覚機能には問題がないのに、読み書きが難しい障がいのことです。ハリウッドスターのトムクルーズがディスレクシアであることを公表したことからメディアで取り上げられ、知名度が高まりましたが、20人に1人の割合で現れていることはまだ知られていません。もしかしたら自分や身近な人が、その障がいであることさえ気づかずに、苦しみながら過ごしているのかもしれない。

数年前、ディスレクシアと上手につき合い、当時岐阜県の特別支援学校にお勤めの神山忠さんの講演を聞く機会がありました。どんなに頑張っても読めないことに苦しんだ日々。責められ、いじ

められ、そして非行に走るようになった少年時代の話には胸が痛みました。でも、自衛隊入隊が転機となり、言葉中心ではない、実物操作が中心の教育がぴったりとはまり、それまでの劣等生から優秀隊員へと人生が変わったということです。そして、それが自信となり、自分なりに障がいとのつき合い方を工夫し、夜間の大学に通い教員免許を取り、教員になったということでした。

そんな神山さんは、「努力ではどうにもならないことは誰にでもある。苦手なことに目を向けられ、それを真正面から取り組まされるのは誰もがつらいこと。得意なことを認めてもらい、それを伸ばしてもらえると自信になる。」と話しています。

生活の中で読めない、書けない、計算ができない、イライラする、忘れ物が多い...こんなことで悩んでいる方、一度学校にご相談ください。子供の特性を理解し、子供に寄り添った声かけや対処法と一緒に考えていきたいと思っています。

◆日向市いのち・愛・人権作品展 入選

- 【作文】1年菊池哲平、1年木村瑠音、1年兒玉奏
- 【標語】2年黒木菜々子、3年大坪亜季、3年寺菌珠亜
- 【図画・ポスター】1年井上葵



◆富島中ホームページ◆

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4601/htdocs/>から、学校だより等、学校の情報をご覧いただけます。

富島中

検索

凡事徹底 ほんじ

当たり前のことが当たり前のように、学校一丸となって取り組んでいます。

今年度もひと月を切り、来年度の計画を策定中ですが、コロナの影響度が微妙です。それ以上にGIGAスクールで全生徒に1台ずつ配備されるタブレットの活用が大変心配です。文科省も急ぎ過ぎだと思っております。(向江)

